

## 人種プロファイリングと暴力

店内で警備員に尾行されたことはある？

制度やサービスを利用する時に無視されたり、取り合ってもらえなかったことは？

西欧的な名前ではないから、違う扱いをされたことは？

ランダムなはずのセキュリティチェックで、何度も検査されたことは？

あなたの肌の色のせいで、警察に暴行を受けたり、拘束されたことは？

上記は、人種プロファイリングの例である。人種プロファイリング (Racial profiling) とは、人種による選別や、人種・肌の色・民族・宗教・出身国や非西欧的慣習を基準とした、人々の管理方法を指す。人種プロファイリングは、人種以外のアイデンティティ——多様なジェンダー、セクシュアリティ、年齢、社会階級、使用言語や市民権の有無など——と関連し、一部の個人やグループを犯罪予備軍として扱うものだ。人種プロファイリングの経験には、人種差や個人差がある。

人種プロファイリングの原点は、植民地主義の暴力に辿ることができる。カナダで最初に人種プロファイリングを経験したのは先住民の人々 (ファースト・ネーションズ、アボリジナル、ネイティブ、イヌイト、メイティ) であろう。カナダは、欧米人が非欧米の土地に作った白人植民社会だ。欧米人の討伐隊による土地や資源の略奪や強制移動、そして、先住民虐殺の歴史の上に白人植民社会は存在している。白人植民社会は人種による階層制度と白人支配を基盤とした社会を創り出す。また、白人植民社会は、この土地の先住者と土地の開発の功績者は白人であるという歴史認識を生み出す。<sup>1</sup>

この白人支配は、有色化された (以下、有色人種) 身体の日常的な監視と管理によって成り立っている。白人支配が権力と支配力を持っているのは、人種プロファイリングの功績と言ってもよいだろう。有色人種と比べると、白人は危険でも不審でもなく、標準で無垢——つまり透明人間のように見えない存在——とされている。よって、白人植民社会において、白人の身体は人種プロファイリングの正当で公正な支配人となる (裁判官、警察や、単なる場の「責任者」など)。人種プロファイリングが保護し、褒美を与える対象は、白人性 (whiteness) をよく理解し、うまく演ずる個人である。

人種プロファイリングは様々な場面で起こる。例えば、教室/学校で、買い物の最中 (例えば100円ショップで)、職場で、祈りの場所で、ドライブ中で、道を歩いている時、空港で、公共交通機関で…。一度、個人やコミュニティが危険視され不審の目をむけられると、以下の体制の管理や規制の対象となる：

- (1) 国 (警察、軍隊、国境監視)
- (2) 一般人を通じた日々の行動や活動の社会的規制と監視 (教師、近隣住民、管理人、通行人、店員、客など)

人種プロファイリングは以下のレベルにおいて発現する：

- **個人レベル**： 特定の人種グループに対する差別的な行動や価値観
- **制度レベル**： 団体や政府における、有色コミュニティや個人をターゲットとする法、政策や業務
- **体制レベル**： 人種差別的態度、価値観、規範、そして、「普通」とされ一般的に受け入れられる社会的慣習

これら3つのレベルにおける人種プロファイリングはお互いに関連しあい、様々なコミュニティにあらゆる効果や影響を及ぼす。

### シナリオ：

白人で中流階級に属する男性スティーブは、仕事の帰りに疲れ果て、99番のバンクーバー市バスに乗った。空いている席は前方にたった一つ、ヘッドホンを付けている若くて気立ての良さそうな黒人男性マークの隣だ。スティーブは黒人の若者の横に座りたくなかったので、マークの前に立つことにした。空いているたった一つの席がマークの隣であることと、マークの前に立つと彼のヘッドホンから音が漏れていることにスティーブはイライラしていた。スティーブはぶっきらぼうに、マークに音量を下げるよう言った。スティーブの声が聞こえなかったマークに対し、スティーブは繰り返し要求した。これにより、2者間での対立が起こった。ことを聞いた運転手はバスを止め、マークにバスを降りるか警察を呼ぶか、という選択を迫った。

上記のシナリオでは、マークの隣に座らないスティーブの個人的行動は、マークを直接的かつ人種的に対象としている。スティーブは無礼で、マークのことをやっかいに思っている。スティーブと運転手はマークに対し人種プロファイリングを行い、バスの中という公共空間における「正当な」支配人となり、最後には制度レベルの人種プロファイリングにまで発展する。この白人2名は集団的にこの黒人の若者を監視し、バスから排除し、彼の公共交通機関を利用する権利を剥奪したのだ。また、私達が、この白人2名がこの空間における「支配人」であることを疑う余地がないと信じた時、体制レベルの人種プロファイリングにもなるだろう。このような事例が起こるのは、私たちが奴隷制や植民地主義の時代から黒人の身体管理・支配に慣れ親しんでいるからに他ならない。

個人、制度、そして体制レベルにおける人種プロファイリングは、白人が人種的・道徳的に優れているという概念に基づいており、このような概念は白人至上主義的思考と呼ばれる。このような人種的暴力は、先住民や有色人種が経験した歴史のおよび現代における生物学的/科学的人種差別にルーツがある。ある特定の人種は自然的に優秀で、他は下劣であるとみなす概念を支持する白人至上主義的思考は人種差別的である。白人至上主義的思考は、有色人種のみが非合理的で、違法で、野蛮で、テロリストで、異常だというレッテルを貼り、日常的な社会から排除される怪物的他者を生み出す。昨今においては、イスラム/アラブ系コミュニティがますます人種プロファイリングのターゲットとされている事実を認めることが重要であろう。西洋中心主義的またはオリエンタリズム的な思想や権力構造は「イスラム教/徒の脅威」を描き出し、それをもとに扇動されるイスラム教徒に対する憎悪、恐れ、そして敵対心をイスラム教嫌悪と呼ぶ。

国が警察を動員したり、民衆がお互いの動きをお互いに管理しようとする時、特定のコミュニティへの監視は特に厳しく過剰となり（人種プロファイリング）、他のコミュニティへの監視は緩くなる。バスに乗っていたマークの例は、その場所にそぐわないとされる身体への管理体制であり、国家の安全保障の名の下で、特定の人々の権利が無視されたり、凍結させられたり後回しにされる。このように、特定の個人の法的権利は無効化され、あらゆる法的保護の範疇外とされてしまう。

## 人種プロファイリングと暴力による効果と影響

人種プロファイリングの対象にされた個人や、コミュニティへの影響は、身体的、精神的、象徴的な多岐に及ぶ。「人種プロファイリングに関するオンタリオ州人権コミッション」<sup>ii</sup>によれば、人種プロファイリングを経験した人々に「自尊心が低く自信がない」「教育を受けられない」「ネガティブな精神的影響」「子供の逮捕」「退職や学校中退」などの傾向が見られるようだ。

あるアンケート調査によると、人種プロファイリング捜査中の蔑語の使用や人種差別的な発言が報告されている。人種プロファイリングのコストとして、法的費用などの直接的経済負担、雇用や収入の損失などが報告されている。特に、人種プロファイリングを経験した子を持つ親の感情的および精神的衝撃は著しいとされている。多くの親は、社会問題の原因として責められていると感じたり、人種・肌の色・出身民族・宗教や祖先などの理由で自分が犯罪者かのような気分させられる、と報告している。<sup>iii</sup>

「人種プロファイリングに関するオンタリオ州人権コミッション」は、人種・肌の色・祖先・出身民族・出身地・宗教などを理由とする人種プロファイリング捜査において、当局から身体的に暴行を受けたケースの影響も調査している。例えば、調査参加者の数名は警察による身体調査で、衣服を脱がされたことがあると述べている。また、人種プロファイリング捜査中の過剰な武力行使による身体的暴行の例もたくさん挙げられている。

他にも、特に女性に影響している異なった形での暴力の例として、「鬱」「スティグマを負ったという気持ち」「自己決定権の剥奪」「PTSD（トラウマ後症候群）」「摂食障害」「薬物乱用」「安心・安全な環境がない」「高い自殺率」「収容や拘留のケースの増加」「惨殺事件の増加」「性的暴行」「強姦、殺人の増加（特に、失踪や殺害されるリスクが高いのは先住民女性である）」が挙げられた。<sup>iv</sup>

人種プロファイリングを経験した先住民と有色コミュニティへの情報資源やサポートは著しく欠如している。さらに、サービス提供者から否定的な対応をされることもあるため、法的地位を持たない者も含む有色人種の人たちは、主流コミュニティが当たり前享受している制度を利用するどころか、避けて生活しているということがある。人種プロファイリングは、刑事裁判制度、法執行機関、関税や国境警備、教育などの様々な制度に対する若者や大人の不信感を煽り、公共の場における自信をなくさせてしまう。歴史を振り返っても、人種プロファイリングは常に特定のグループを監視・管理してきた。刑務所や収容所において、そのグループに属する人が多く見られるのはその結果である。<sup>v</sup>

## 人種プロファイリングの統計

### 人種プロファイリングについて ブリティッシュコロンビア州自由人権協会より<sup>vi</sup>

- **1994:** 「体制的人種差別に関するオンタリオ州委員会」は、トロントの中心街に住む1300人にインタビュー調査を実施。その結果、白人やアジア人に比べ、黒人は警察に呼び止められる確率が2倍で、更に、複数回呼び止められる確率は4倍だった。同委員会が黒人（417人）、中国人（405人）、白人（435人）の計1257人を対象に行った電話調査によると、43%の黒人男性が過去2年間にトロント警察に呼び止められた経験があるのに対し、同じ経験がある白人男性は25%だった。
  - **2003:** カナダ人の48%が、アラブ人やイスラム教徒に対するプロファイリング捜査に賛成していると回答した。2005年にIpsos Reidが実施した全国調査では、38%のカナダ人が、自分のコミュニティ内で、最も人種差別のターゲットになりやすいグループはイスラム教徒やアラブ人だと答えた。これは9.11後の影響を受けての結果だと言える。
  - **2005:** データによると、白人住民が過半数を占めるオンタリオ州キングストン市の警察は、白人に比べ黒人は3.7倍、先住民は1.4倍の確率で呼び止めていたことが分かった。
- カナダにおける調査では、白人の若者の集団に対し黒人の若者の集団が警察に呼び止められる確率は4倍、身体検査を行われる確率は6倍にも及ぶとの結果がでた。

### ファクトシート # 1 人種プロファイリングに対するアフリカ系カナダ人コミュニティ連合より<sup>vii</sup>

1993年に150名の若者を対象にカナダ自由人権協会が行った調査によると：

- 警察と遭遇した経験を否定的だったと答えた人種的マイノリティは71%なのに対し、白人は50%だった。職務質問の際、警官から人種的蔑語で呼ばれたことがあると複数名が答えた。

「ユージュアル・サスペクツ：人種、警察の呼び止め捜査、刑事不正義という考え方」（1994年）ス  
コット・ウォートリー教授

- 18.2%の白人と14.6%の中国人に対し、アフリカ系カナダ人の28.1%が警察に呼び止められた経験があると回答。
- 2.1%の白人と2.2%の中国人に対し、11.7%のアフリカ系カナダ人が過去2年に警察に「不当に」呼び止められたと回答。
- 22.1%の白人と中国人に対し、42.7%のアフリカ系カナダ人の男性が過去2年間に警察に呼び止められた経験があると回答。

警察・人種間の関係のためのカナダセンター 1994年にフィリップ・C・ステニング博士の調査に協

## カしたアフリカ系カナダ人によると：

- アフリカ系カナダ人は警官に罵られる確率がより高く（同グループ58.8%に対して白人38.3%、その他43.6%）、人種的蔑語を浴びせられる確率も高かった（同グループ31.4%に対し、その他5%）。
- 軽犯罪に際して、警官はアフリカ系カナダ人に対し武器を向ける頻度が他のグループより高かった（同グループ25%に対し、白人6.7%、その他6.7%）。

## 資料とリンク

警官に呼び止められた際、自分にどのような権利があるのか知っておくことは重要だ。肌の色、アクセント、声のトーン、服装、名前、国籍、どこで/なぜあなたが呼び止められたか…あるいは、あなたが全く知り及び得ない理由により、警官とのやり取りの内容は変化する。あなたの権利が尊重されるかどうかは、警官に委ねられている。役に立つリンク集を以下に集めた。

### **The Arrest Handbook: A Guide to your Rights by BC Civil Liberties Association**

<https://noii-van.resist.ca/wp-content/uploads/2007/05/arrest-handbook.pdf>

### **No One is Illegal (NOII): Detention and Deportation**

[https://noii-van.resist.ca/?page\\_id=98](https://noii-van.resist.ca/?page_id=98)

### **BC Civil Liberties Association (BCCLA) on Racial Profiling**

<https://bccla.org/wp-content/uploads/2012/03/2007-BCCLA-Report-Racial-Profiling.pdf>

### **African Canadian Community Coalition on Racial Profiling Factsheets**

<http://crr.ca/divers-files/en/onGoing/racProf/rep/eRacProfRepRacProfFctSh.pdf>

### **No One is Illegal - Get the Facts**

[https://noii-van.resist.ca/?page\\_id=11](https://noii-van.resist.ca/?page_id=11)

### **The Ontario Human Rights Commission on Racial Profiling**

<http://www.ohrc.on.ca/en/what-racial-profiling-fact-sheet>

## 人種プロファイリングの過去、現在そして法案と事件<sup>viii</sup>

- 植民者との接触から現在まで：失踪もしくは殺害された先住民女性の増加
- 1876年 – インディアン法
  - インディアン法は先住民文化を抹消し、土地や資源を盗むために制定された
  - 先住民の人々の民族自決権を剥奪し、先住民族を定義し、先住民の人々を強制的に移動

させ、公民権を奪い、同化させる

- 登録されたインディアンか、登録されていないインディアンかを父系血統で判断する
- 伝統的な先住民の儀式を禁止する（ポトラッチやサンダンス）

#### • 1910年 – カナダ移民法

- イギリス人と白人ヨーロッパ人を「好ましい」位置においた、好ましい/好ましくない移民の出身国リストを作成

#### • 1914年 – 戦時措置法

- 有色人種の人を強制退去させ、先住民の人の土地を没収できる力を政府に与えた
- 第二次世界大戦中に日系カナダ人を収容し、資産や所持物を没収する際に使われた

#### • 1927年 – インディアン法

- 土地の所有権を主張するために寄付金を集める行為が、収監の対象となる刑事犯罪に当たると改定された

#### • 1942年から1949年 – 日系カナダ人は拘留され、強制収容キャンプへ

- 日系人の資産や所有物は取り上げられ、カナダ政府により売却された

#### • 1967年 – 移民法

- より公平な移民認定審査を作るためにポイント制を導入したが、植民地主義的・西洋中心主義・資本主義的なポイント制のため、「ふさわしい」移民を選出した

#### • 1970年 – 環境的黒人人種差別

- ノバスコシア州ハリファックス近くの黒人集住地域であるアフリックヴィレは、居住者の合意なく、退去を強いられた。人糞の肥溜め、感染症、屠殺場、剥き出しの市のゴミ溜め、石炭を扱う施設、なめし革工場、靴工場など、白人入植者が自身の地域に欲しくないものを、環境的人種差別や階級差別を理由にこの地域に押し付け、居住者は生活困窮や健康被害を経験していた
- ジョージアストリート高架道路の工事のため、バンクーバー市議会は、バンクーバーの黒人コミュニティであるホーガンズアレイを撤去

#### • 2002年 – 移民および難民保護法（1976年の移民法より変更）

- 2002年 – 反テロリズム法
  - 警察隊に極端な捜査や監視を執行する力を与え、令状のない逮捕や、容疑がかかっているだけで予防的拘束を可能にする。カナダのテロリストの定義は曖昧かつ不正確で、様々な解釈ができるようになっている
  - カナダ国家は反テロリズムの任務を、言論の自由、デモ行進する権利、そして結

社の自由の制限に関するあらゆる反対意見、批判や勢力を一掃するために政治利用している

- 2002年 – 安全証明書（1978年から1991年に施行されていた安全証明書の再導入）<sup>ix</sup>
  - 安全保障に対する脅威と判断された非カナダ市民を、告訴なしに収容し、強制退去や無期限拘留できるというシステム。逮捕は実際の証拠によるものではなく、「テロリスト団体」との繋がりへの疑いによるもの
  - 安全証明書の訴訟手続が不正である理由は (1) 被告とその弁護士（政府の弁護士リストから手配される）は機密に集められた証拠へ限られた権限しか持たないから、そして (2) 審尋は被告不在で非公開に行われるからである
  - 法に基づく適正手続の保障や、疑わしきは罰せずの基幹的原則を侵害する。無期限収容禁止令を侵害する
  
- 移民および難民保護法による「二重仕置」<sup>x</sup>
  - 犯罪を犯した非カナダ市民は永住権を失い、犯罪の程度（判断基準は設定されたことがない）によっては、刑事司法制度により罰せられたあとに強制退去となる
  
- 2011年 – 移民および難民保護法改正 – 街頭安全法<sup>xi</sup>
  - 搾取される「リスク」のある外国籍の者への就労ビザを許可しないことで、加害者であるカナダ人雇用主ではなく、被害者を罰する

#### • 2015年 – 反テロリズム法案 C-51<sup>xii</sup>

- 曖昧な用語である「テロリズム」を扱うこの法は、先住民の民族自決権や環境権、移民/労働者の権利、その他社会正義の侵害に関する課題のデモなど、好ましくない活動を有罪化する権力を法執行機関や機密機関に与える。
  - 令状なしの捜査や逮捕<sup>xiii</sup>
  - 3～7日に渡る起訴なしの拘留
  - 「ハイリスク」と判断された人への渡航の制限
  - 裁判は非公開のうちに行われ、記録は残されない
  - 裁判官は司法制度から去る個人に対し、パスポート没収や、電子機器の監視/禁止などの条件を強制できる
  - 最大5年の実刑を宣告できる
  
- カナダ安全情報局（CSIS）の権限は拡大する：
  - 政府機関の間で個人情報により自由に共有される
  - 法執行機関がテロリズム行為に「及ぶかもしれない」と疑う個人を逮捕できるなど、逮捕基準の引き下げ
  - 「過激化」すると思われる個人に対し送られたネット上のコミュニケーションに関して異議申立てできる
  - 怪しいと思われる個人の旅行計画や金融取引を妨害したり、荷物や郵便物などを

押収できる

• 2015年 – 野蛮文化行為禁止法 (S-7法案) <sup>xiv</sup>

- ポリガミーなど、複婚している、または複婚しているとされる移民の入国を禁止し、既にカナダ国内にいて複婚している移民に対しては永住権剥奪の可能性も
- カナダから子供を結婚のために出国させるなど、早婚または強制結婚に関する行為を犯罪化する。女性に対する暴力に対する団体の多くにとっては、この法がマイノリティのコミュニティに属する女性が暴力を通報したり、サポートを受ける際の制度的な障壁になる<sup>xv</sup>

-----  
**人種プロファイリングと暴力を止める！**  
-----

製作 人種プロファイリングと人種差別的暴力に反対する特別委員会  
コーストサリッシュ領土 (カナダBC州バンクーバー)

2015年7月10日 修正

この文書を複製または引用する際は、製作者を明記してください

私達の集会や関係性はコーストサリッシュの人々の  
伝統的かつ未割譲の土地の上で行われたことをここに感謝し、承認します。

私達は先住民の独立の権利と民族自決権を承認します。

私達は、タートルアイランドにおける先住民の人々の土地やコミュニティ、  
そして個人に対する占拠と人種差別的暴力/プロファイリングへの終わりを求めます。

この文書は以下のウェブサイトで、他の言語でもご覧いただけます：[www.vsw.ca](http://www.vsw.ca)

<sup>i</sup> Razack, S. (2002). *Race, Space and the Law: Unmapping a White-Settler Society* (pp. 1-2). Toronto: Between the Lines.

<sup>ii</sup> The Ontario Human Rights Commission on Racial Profiling.

<sup>iii</sup> Ibid.

<sup>iv</sup> Canadian Research Institute for the Advancement of Women ([http://www.criaw-icref.ca/sites/criaw/files/VAW\\_ENG\\_LongFinal.pdf](http://www.criaw-icref.ca/sites/criaw/files/VAW_ENG_LongFinal.pdf)) & Ottawa Rape Crisis Centre (<http://www.orcc.net/resources/factsheets>)

<sup>v</sup> The Ontario Human Rights Commission on Racial Profiling.

<sup>vi</sup> Bahdi et al. (2010). *Racial Profiling* (pp. 84, 33-35, 43). Vancouver: B.C. Civil Liberties Association.

<sup>vii</sup> African Canadian Community Coalition on Racial Profiling.

<sup>viii</sup> Vancouver Status of Women. (2008). *History in our Faces on Occupied Land: A Race Relations Timeline*: <http://www.vsw.ca/Documents/RRTimelineJune10thFINAL.pdf>.

<sup>ix</sup> [http://www.thestar.com/news/canada/2007/10/23/ottawa\\_tackles\\_terror\\_laws.html](http://www.thestar.com/news/canada/2007/10/23/ottawa_tackles_terror_laws.html) & <http://www.cbc.ca/news/canada/security-certificates-and-secret-evidence-1.777624>



---

<sup>x</sup> <http://www.solidaritycrossborders.org/solidarity-city/solidarity-city-journal/what-is-double-punishment>

<sup>xi</sup> <http://www.cbc.ca/news/canada/9-key-elements-of-the-crime-bill-1.995701> & <http://ccla.org/wordpress/wp-content/uploads/2011/10/CCLA-Brief-C101.pdf>

<sup>xii</sup> <http://www.cbc.ca/news/politics/anti-terrorism-powers-what-s-in-the-legislation-1.2937964>

<sup>xiii</sup> <http://www.globalresearch.ca/canadas-antiterrorism-bill-c-51-a-legal-primer-expands-the-powers-of-canadas-spy-agency-allows-arrest-on-mere-suspicion/5436727>

<sup>xiv</sup> <http://outburstmovement.com/2014/12/stop-bill-s-7-proposed-zero-tolerance-for-barbaric-cultural-practices-act/>. This Act amends the Immigration and Refugee Protection Act (IRPA), the Civil Marriage Act and the Criminal Code.

<sup>xv</sup> <http://schliferclinic.com/if-passed-the-zero-tolerance-for-barbaric-cultural-practices-act-will-pose-another-institutional-barrier-to-marginalized-communities-reporting-violence-and-receiving-support/>